

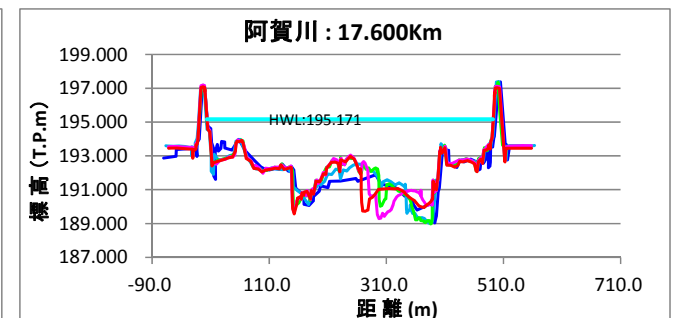
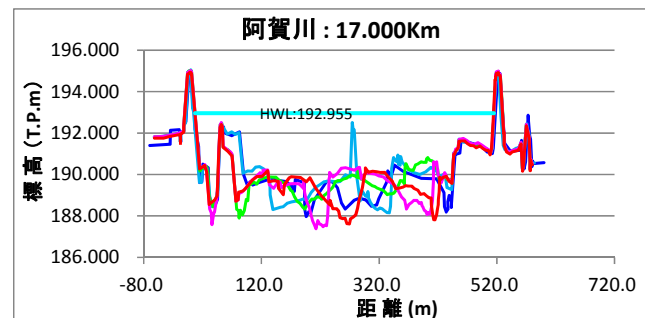
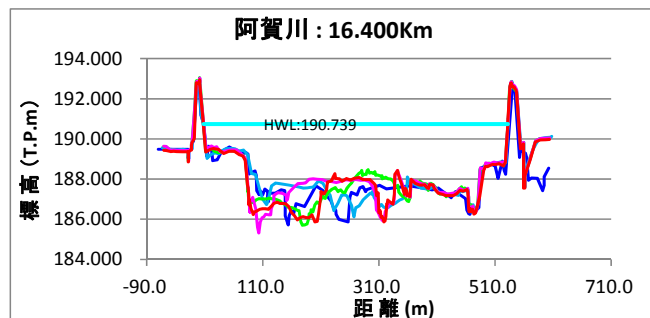
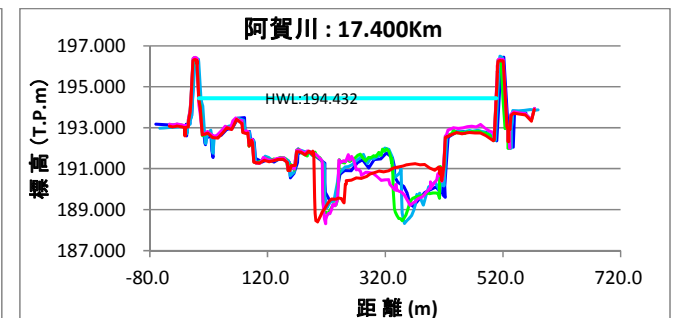
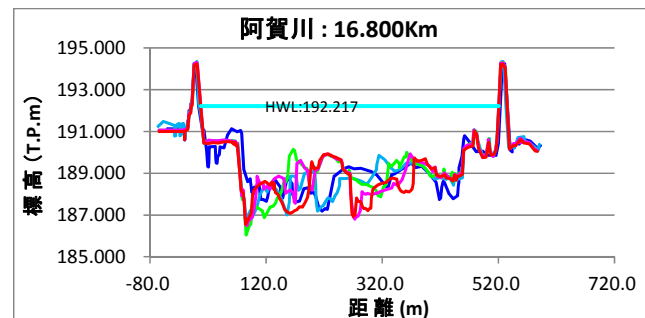
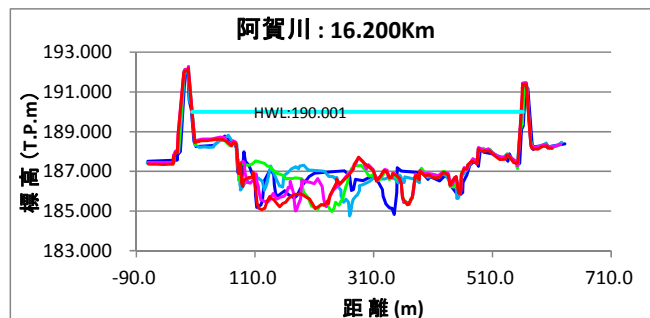
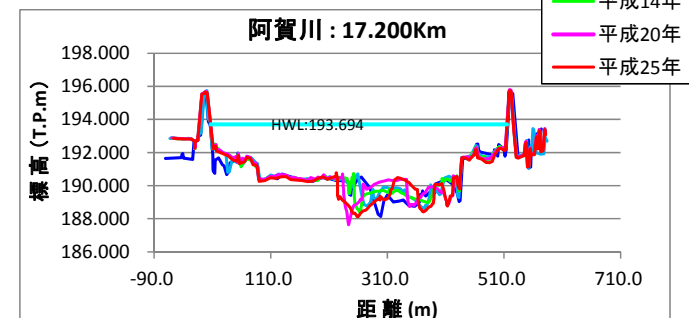
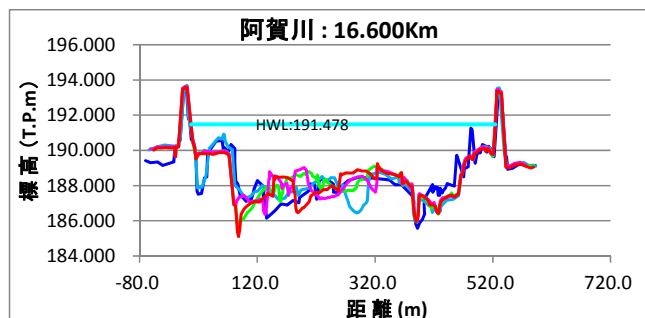
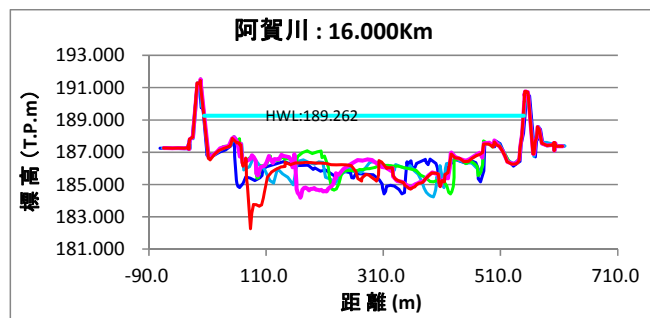
阿賀川自然再生事業モニタリング調査の中間報告

資 料 編

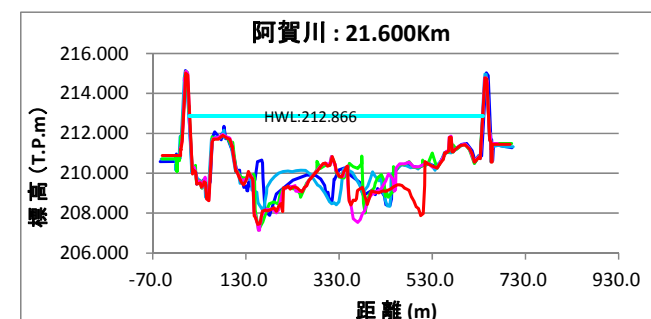
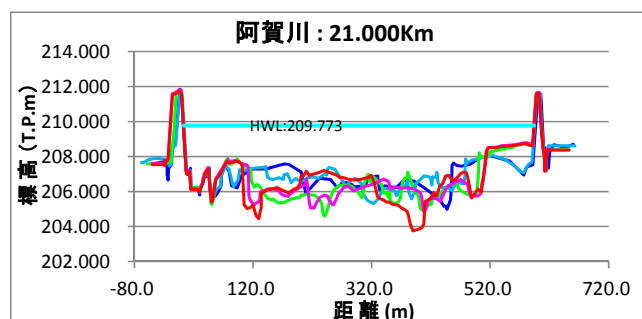
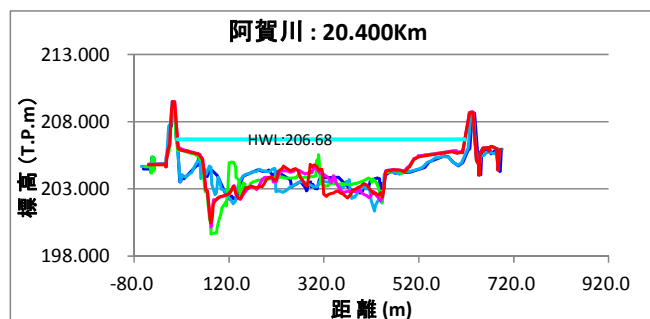
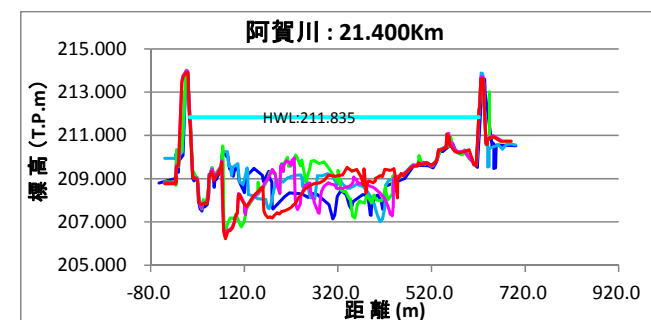
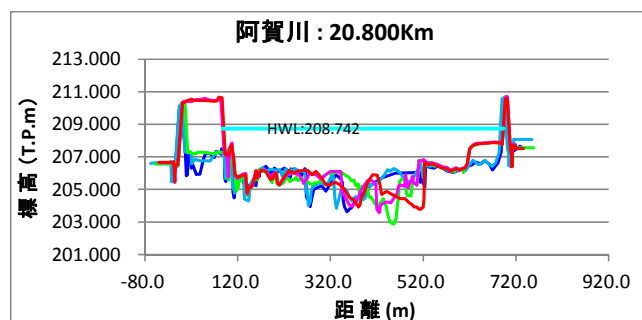
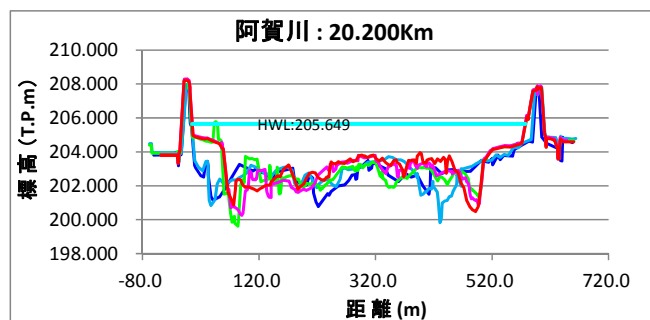
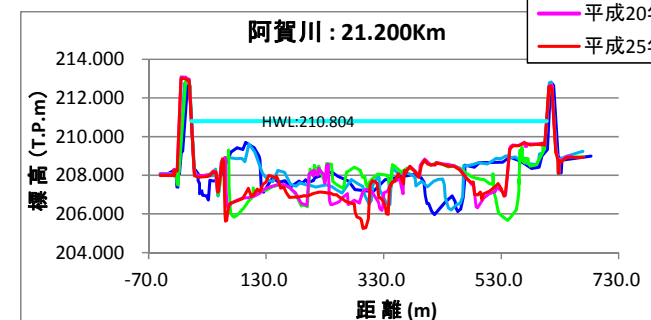
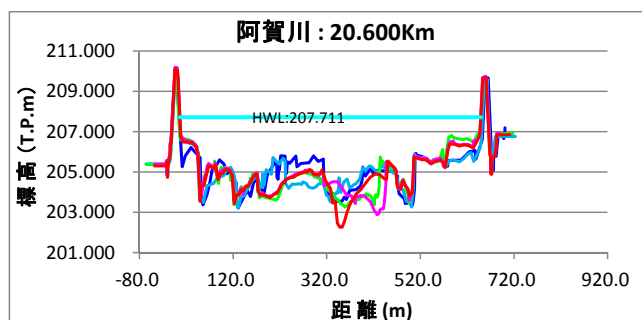
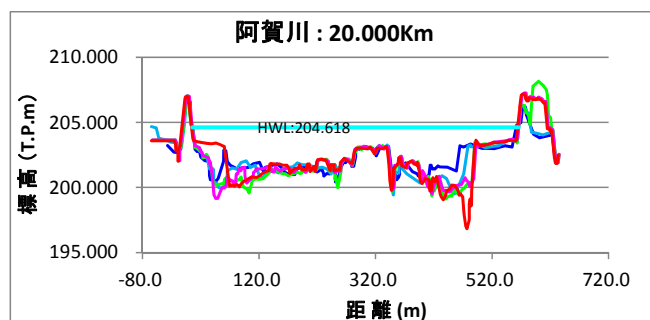
平成27年11月11日
北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

資料 1.	横断重ね合わせ図	1
資料 2.	河川水辺の国勢調査実施状況と予定	9
資料 3.	写真集	10
3.1	主な指標種・確認種	10
3.2	魚類水中写真	11
3.3	河原植物の根の状況	12
3.4	平成27年9月10日洪水後のカラハハコバシの状況	13
3.5	平成27年のアユ釣りの状況	14

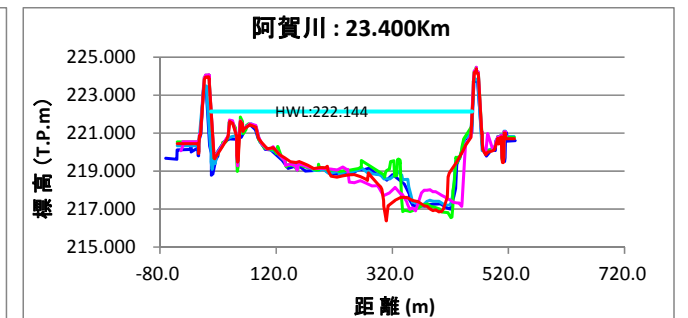
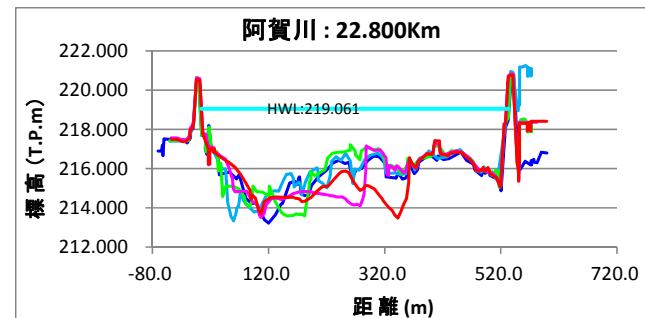
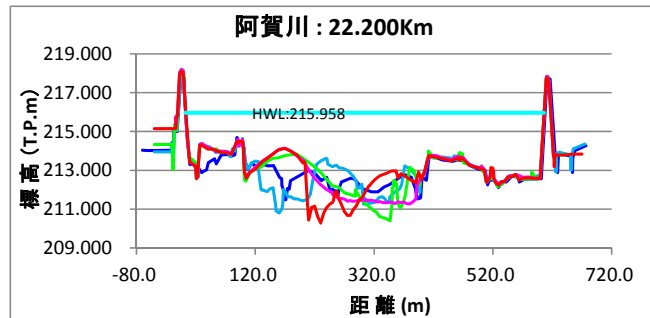
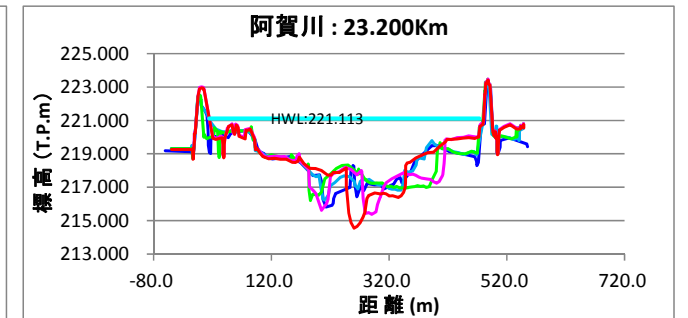
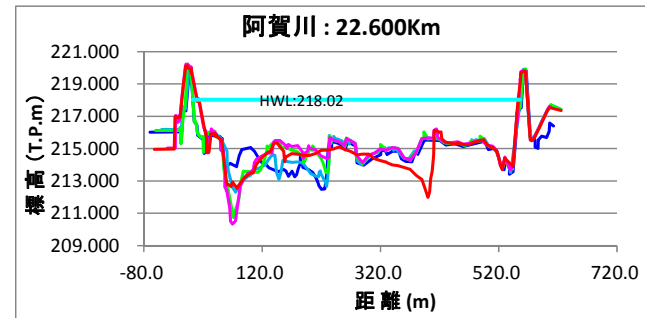
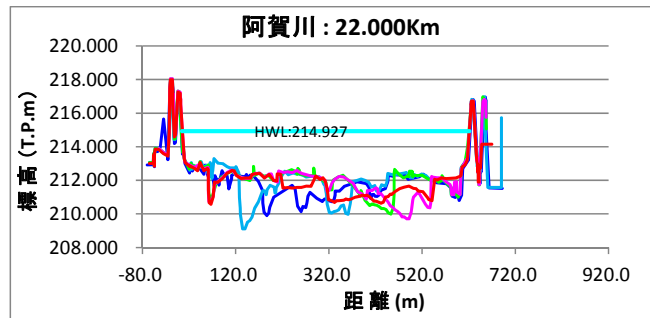
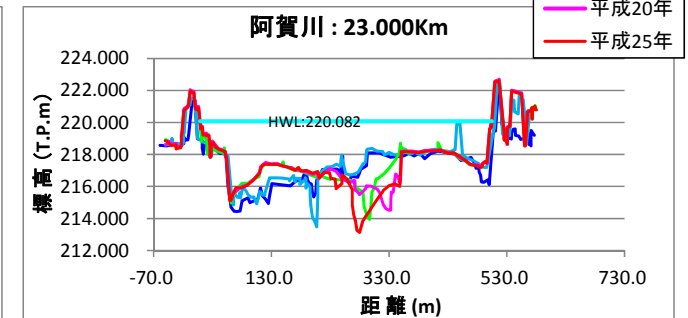
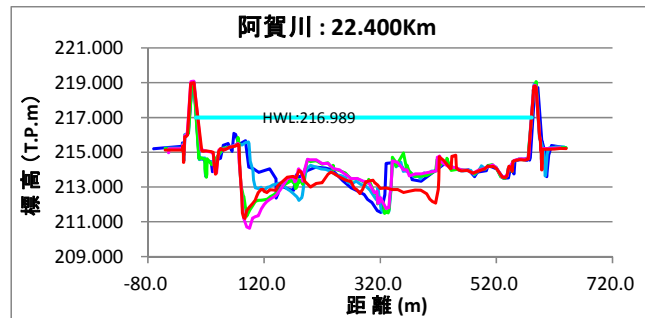
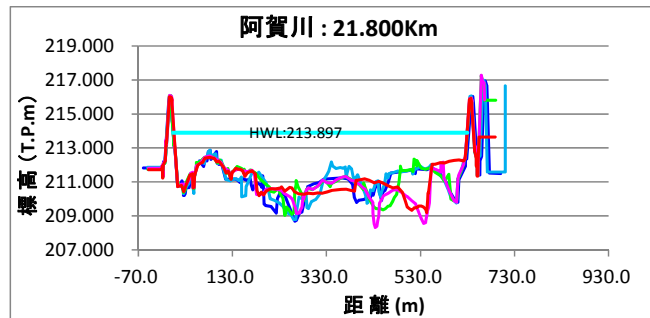
資料 1. 横断重ね合わせ図 (16.0k~17.6k)



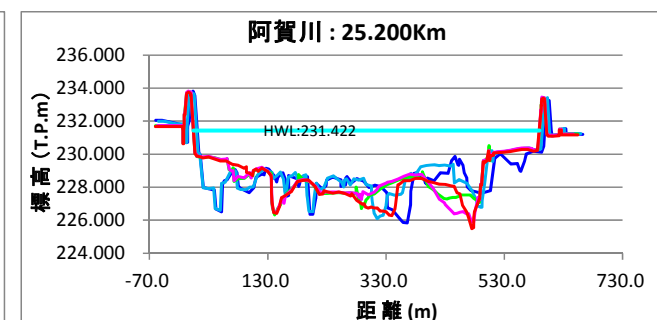
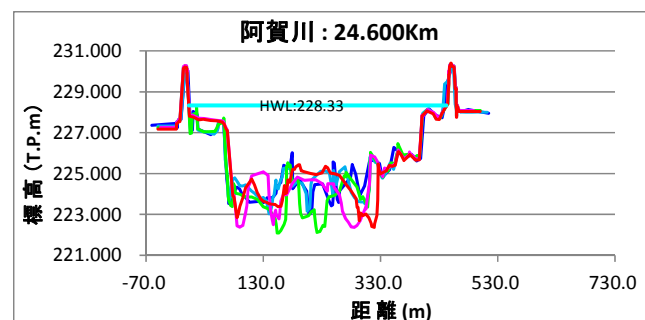
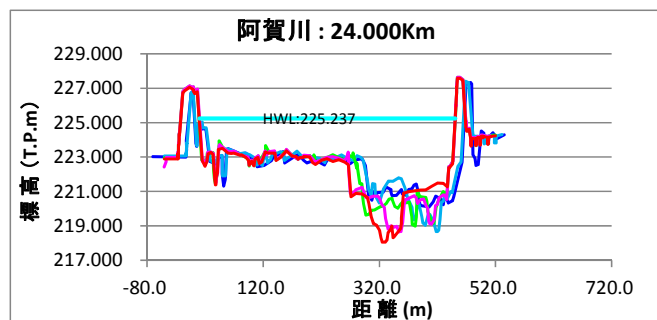
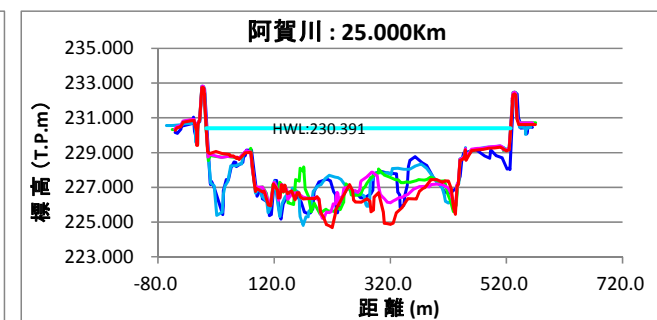
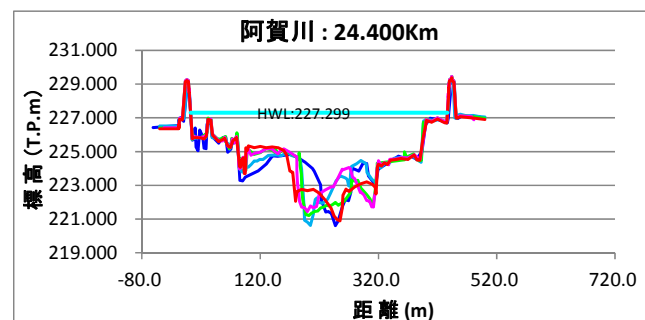
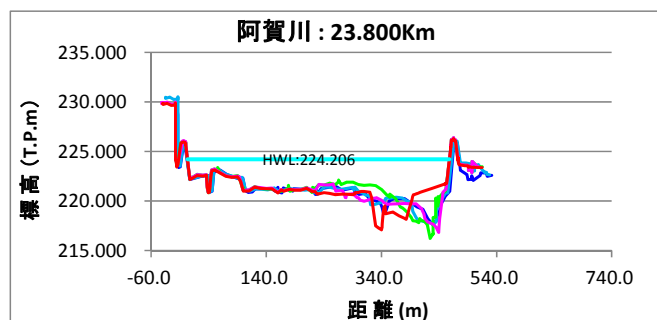
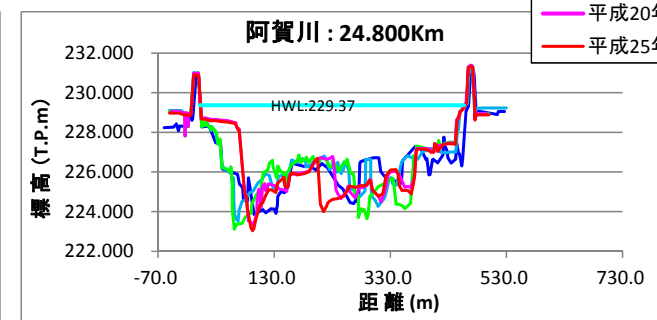
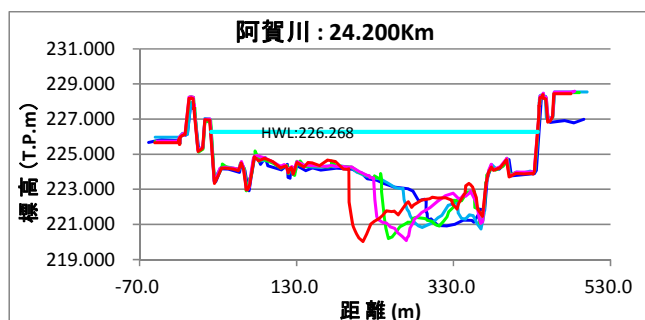
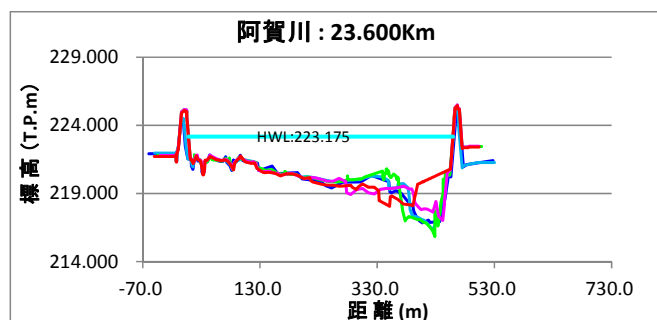
資料 1. 横断重ね合わせ図 (20.0k ~ 21.6k)



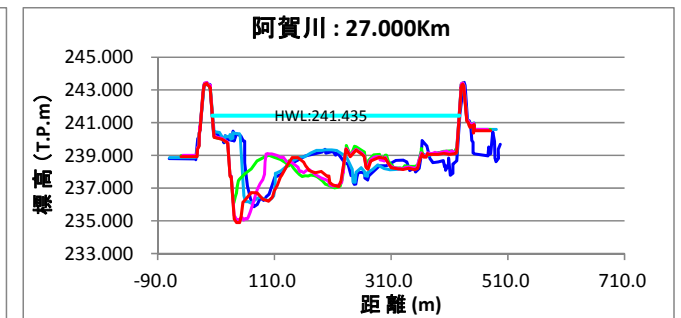
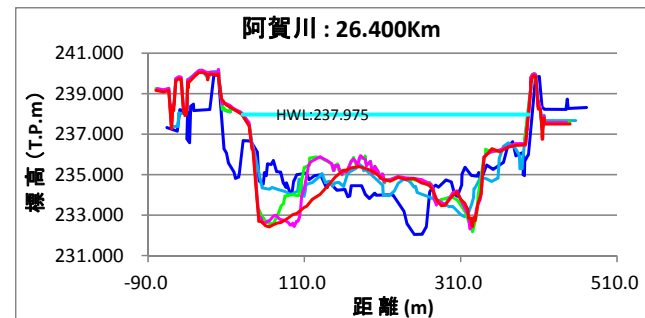
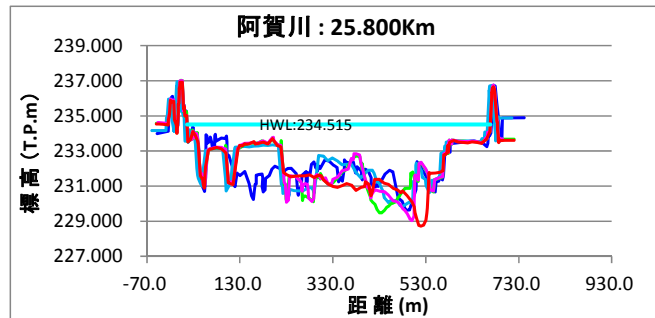
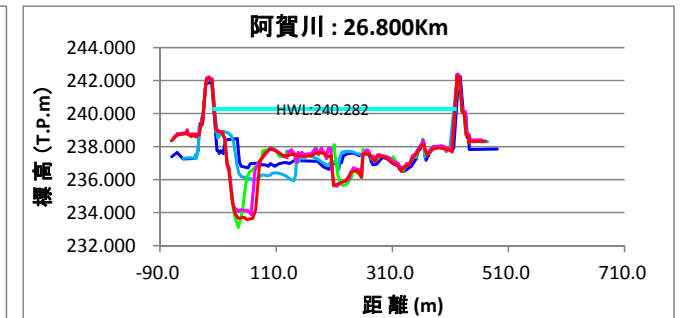
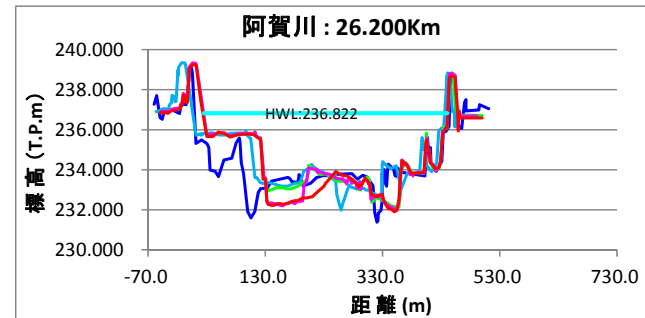
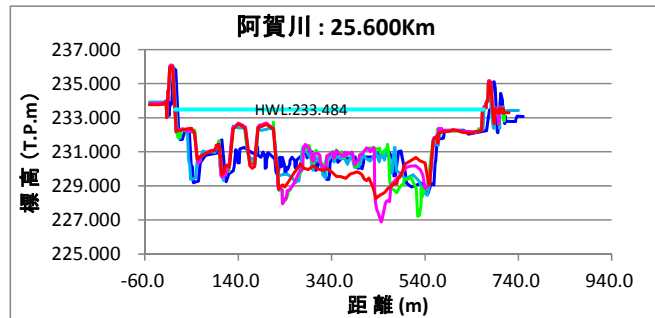
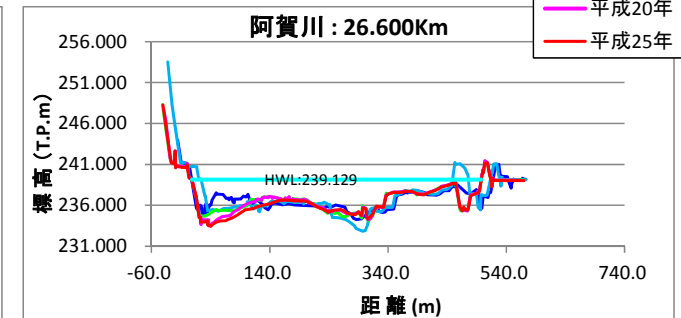
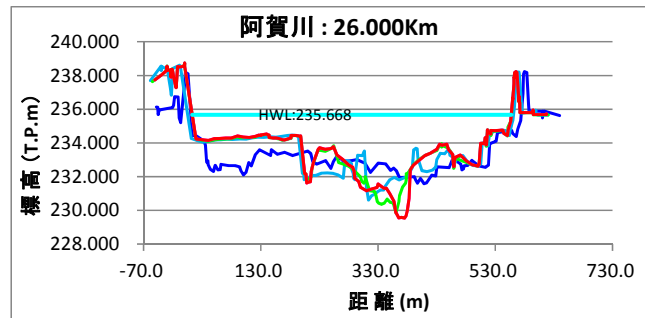
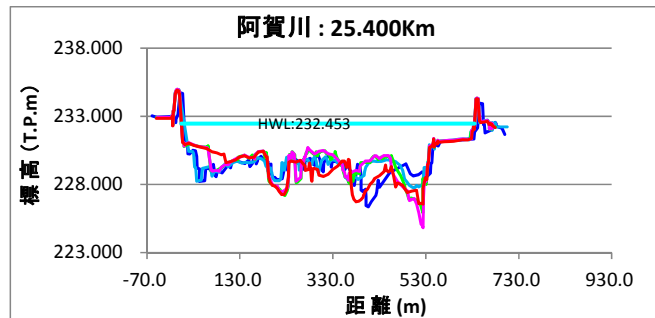
資料 1. 横断重ね合わせ図 (21.8k ~ 23.4k)



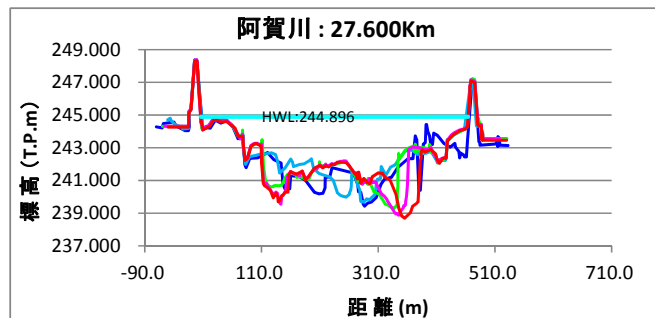
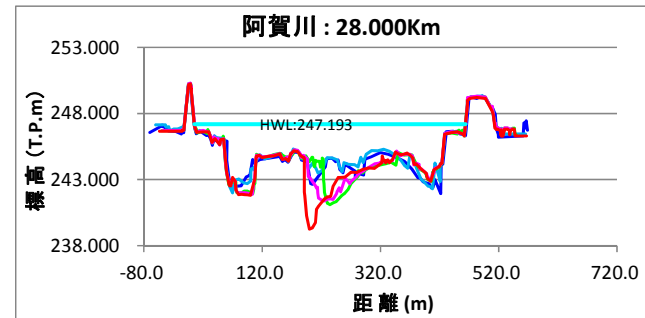
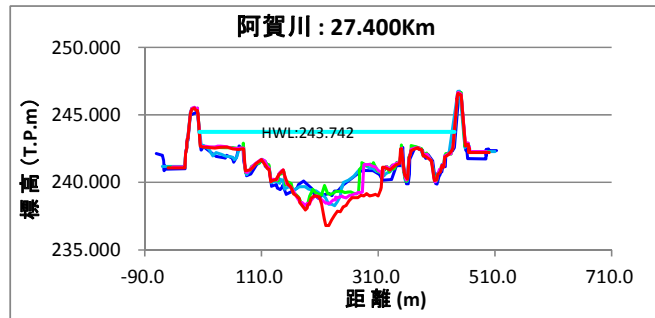
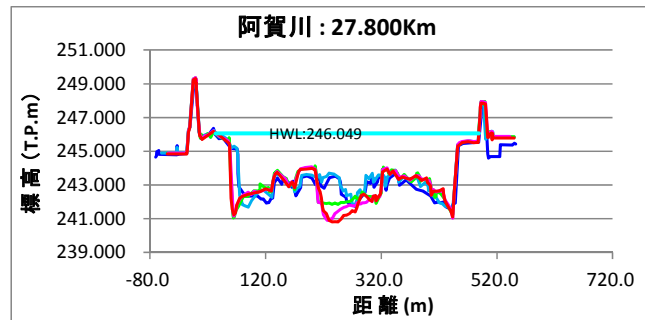
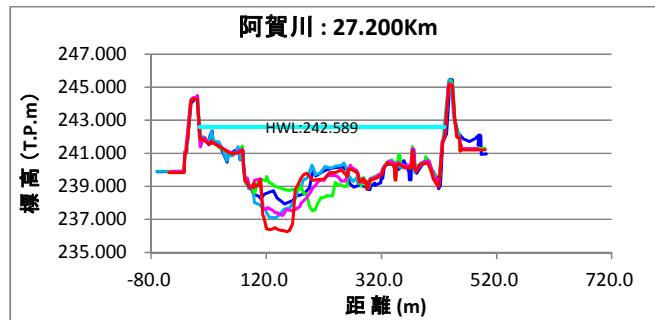
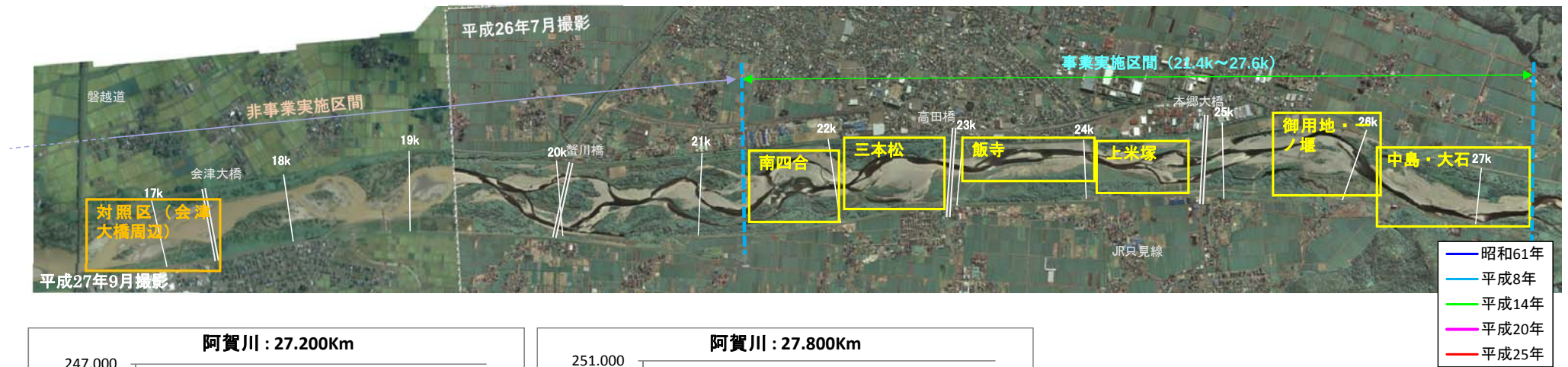
資料 1. 横断重ね合わせ図 (23.6k ~ 25.2k)



資料 1. 横断重ね合わせ図 (25.4k ~ 27.0k)



資料 1. 横断重ね合わせ図 (27.2k~28.0k)



資料2. 河川水辺の国勢調査の実施状況及び予定

- 河川水辺の国勢調査の第4巡目以降の実施状況と予定
- 河川水辺の国勢調査の調査定点は昆虫類の1地点を除き、事業実施区間にはほとんど設定がない

河川水辺の国勢調査の実施状況及び予定

			河川水辺の国勢調査実施年度																	
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
			2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
河川水辺の 国勢調査	魚類	・ 5年に 1 回	●					●				●				○				
	植物	・ 10年に1回						●							○					
	鳥類	・ 10年に1回			●				●										○	
	陸上昆虫類	・ 10年に1回				●				●										
	河川環境基図	・ 5年に 1 回		●					●				○						○	

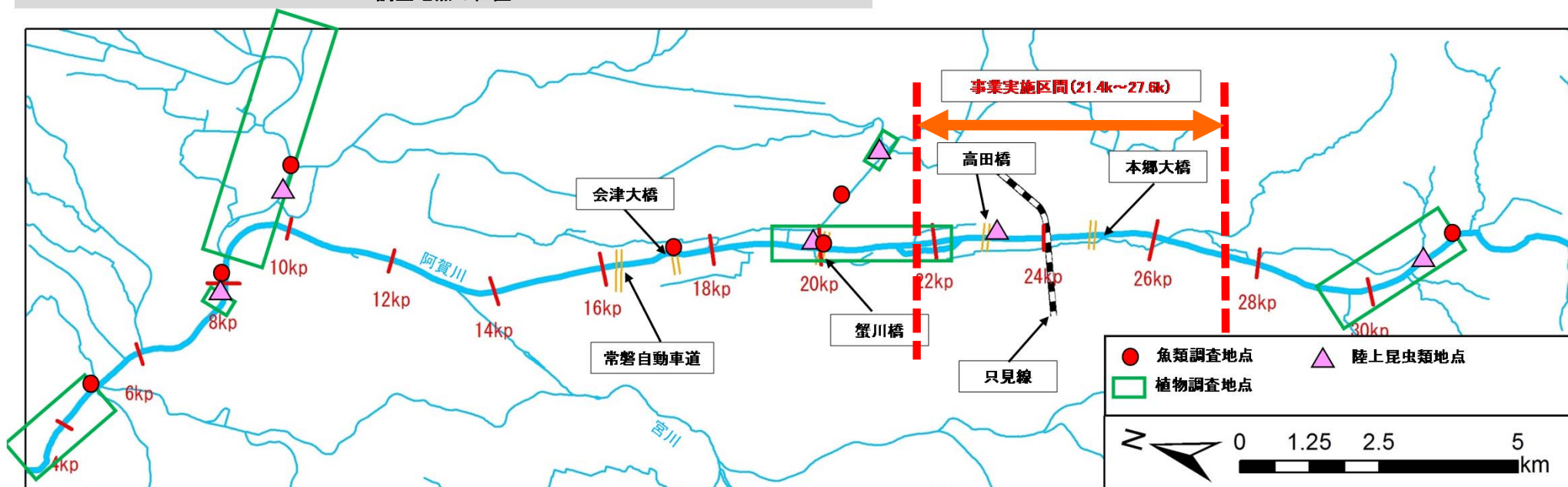
● 実施済み ○ 予定

※河川水辺の国勢調査の実施頻度は平成18年度のマニュアル改正により、それまでの5年に1回から、魚類・底生動物・河川環境基図を除き、10年に1回となった

※平成28年度以降に示したものは現時点で想定される予定である

※上記の表ではモニタリングの対象となっていない分類群(底生動物、哺乳類、両生類、爬虫類)については省略した

調査地点の位置



※鳥類は平成18年度のマニュアル改正により、スポットセンサス法に変わったため、全域を調査しているが、堤防上からの観察となっており、礫河原に特化したデータはない

※昆虫類の調査地点も事業区域に1箇所あるが、主に高水敷を対象としており、礫河原に特化したデータはない

資料3. 写真集 3.1 主な指標種・確認種

- 礫河原にのみ特徴的に見られる植物であるカワラニガナ、カワラケツメイ
- カワラバタは礫河原で採餌、繁殖。植生が繁茂し、土が滞積するような場所には生息せず。オサムシモドキも砂礫地に特有の種
- ワンドやタマリにはクロゲンゴロウ、ミズカマキリ、マルガタゲンゴロウ、コガムシなど水生昆虫類も豊富
- コチドリ、イカルチドリは礫河原を主な生息場とし、礫間に簡単な巣をつくって繁殖
- イソシギは水辺や河原を採餌場とし、礫河原の周辺の草地で繁殖



カワラニガナ H27.5.26



カワラケツメイ H27.9.22



カワラバタ H27.10.13



オサムシモドキ H26.10.3



コチドリ H27.5.27



イソシギ H27.5.25



ミズカマキリ H26.9.13



クロゲンゴロウ H26.9.13



イカルチドリ卵 H27.5.27



ヒバリ H27.5.26



コガムシ H26.9.13



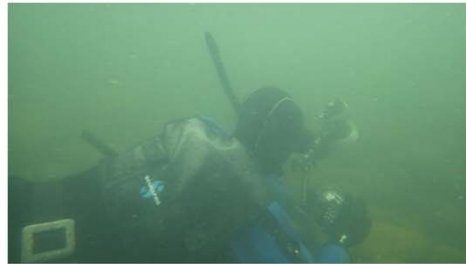
マルガタゲンゴロウ H26.9.13

資料3. 写真集 3.2 魚類水中写真

- 潜水による写真撮影を実施
- アユは礫に付着した藻類を餌とし、礫の河川でなわばりを形成して生息。藻類を食べた跡は独特の痕跡(はみ跡)
- シマドジョウ、カジカ、ヨシノボリ属、「アカザ」は礫底の河川に生息し、礫の間等に生活



潜水撮影 H27. 7. 23



潜水撮影 H27. 7. 23



アカザ H27. 7. 23



アユ H27. 7. 23



アユはみ跡 H27.7.23



シマドジョウ H27. 7. 23



カジカ H27. 7. 23



ヨシノボリ属 H27. 7. 23



アユ H27. 7. 23

資料3. 写真集 3.3 河原植物の根の状況

- 礫河原の指標植物の礫河原における根の張り方を調査
- 多年草のカワラハハコは礫間に深い根を伸ばすが、株全体では浅い細かい根が多い
- 一年草のカワラアカザは地表浅い場所を横に這うような根
- カワラニガナは多年草で、下方に伸びるしっかりした根



カワラハハコの群落 H27.8.25



カワラハハコ H27.8.25



カワラハハコの根 H27.8.25



カワラハハコの根と新芽 H27.8.25



カワラアカザの根 H27.8.25



カワラニガナの根 H27.8.25



カワラハハコの根 H27.8.25

資料3. 写真集 3.4 平成27年9月10日洪水後のカワラハハコ群落の状況

- 平成27年9月10日洪水後のカワラハハコ群落の状況
- 群落の規模は縮小したが、残存している場所が局地的にあり、新たな芽生えも多く確認
- 洪水で植物体は倒れているが、根は残り、生存



三本松のカワラハハコ群落 H27. 10. 15



御用地のカワラハハコ群落 H27. 10. 15



三本松のカワラハハコ群落 H27. 10. 15



御用地のカワラハハコ群落 H27. 10. 15

資料3. 写真集 3.5 平成27年のアユ釣りの状況

■平成27年のアユ釣りの状況。多数の釣り人がみられた



高田橋上流 H27.8.28



高田橋上流 H27.8.28



高田橋上流 H27.8.28



高田橋上流 H27.8.28



中島地区 H27.7.23